
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 17 弾 第 8 回「図書館の思い出」地域保健医療疫学 / 高嶋直敬

.....

【2】 --- [御礼] 秋の読書週間

.....

【3】 --- 図書館自習室の空調設備が新しくなりました

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 17 弾 第 6 回「図書館の思い出」

地域保健医療疫学 / 高嶋直敬

.....

学生の頃は研究室で研究をしていたので、大学の図書館には毎週のように通っていました。当時は PubMed で検索し、本文は図書館に探しに行く、そんな時代で、持てるだけ製本された雑誌を持ち、必要な論文の個所をコピーして、ようやく論文が読めるそんな時代でした。

当時は、そもそも学問以前に、日々の出来事から、自炊のレシピまで、誰かに教えてもらうのでなければ、本、新聞、雑誌といった活字から知るよりはかたはなく、本が日常生活の一部だったような気がします。学生時代は今とは違いカリキュラムにも余裕があったので、いろいろな図書館にも行きました。一番印象に残っているのは中之島図書館で、以前は一般蔵書も多くあり、たまに行っていましたが、建物自体が知の拠点を体現しているように感じられました。

インターネットが大学だけでなく、自宅からも使えるようになり、学術的なことはともかく、日々のちょっとした疑問から自炊のレシピまではインターネットで調べることができるようになりました。当初はインターネット上の情報そのもの、Wikipedia であっても質の点で疑問視されていました。今では印刷された百科事典は絶版が相次ぎ、Wikipedia や個人から大学の研究者、企業や大学といった組織が WEB 上で発信した情報を検索する時代になりました。2005 年だったと思いますが Nature の検証記事では Wikipedia は百科事典と同程度の誤りがあったと大きく報道されたことを今でも覚えています。とはいえ、質の玉石混交

は当時から今も変わらないと思います。

日常生活のふとした疑問まで図書館に調べに行くことはなく、とりあえず Web を調べる
ことが徐々に増え、何かを調べに図書館に行くことは急速に減った気がします。

またこのころには研究の一次資料となる論文も、徐々に PDF の形でダウンロードできる
ようになり、図書館に論文を探しに行く頻度は徐々に減ってきました。最近では、電子ジャー
ナルで入手できないが図書館に現物がある論文に出会うことはほぼなくなり、図書館で
本や雑誌を手取ることはほとんどなくなりました。少しの時間の隙間に検索して本文を
見ることができるようになったという意味では、電子ジャーナルにアクセスするためのゲ
ートウェイとしての図書館は、以前より頻繁に利用し、大変お世話になってます。

図書館なので、正しい使い方ではないのですが、コピー機の順番待ちや、書架などで
いろいろな先生方からいろいろと教えていただくなど、アカデミックな交流もあったと思
います。そういう意味では知と人だけでなく本によって結びつけられた交流の場でもあっ
たのかなと思います。デジタル時代だからこそ、対面での交流はより価値がある気がします。
多くの研究者、学生の知の交流の場が図書館を核として作られ、仮想ではない人と人、人と
知識が出会える場になればと願っています。

過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 【御礼】 秋の読書週間

.....

「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として実施した「2023 秋の読書週間」企
画に多数のご応募、ありがとうございました。各企画の報告と今後の展開をお知らせします。

[実施期間] 2023/10/27(金)~11/9(木)

その1.読後のつぶやき~ブックレビュー

[応募総数] 17 件

[レビュー発表] 投稿いただいた紹介文を[図書館ホームページ](#)に掲載しています。

様々な分野の本に、学内外から個性豊かなレビューをお寄せいただきました。

[賞品の受渡し] 順次メールにてご連絡します。

その2.しおりコンテスト

[応募総数] 17 点

学内外よりデータで、手書きで、魅力的なデザインが集まりました。

[作品発表] 館内で展示など優秀作品を選定し、ご本人にご連絡します。
(詳細は後日お知らせします)

その3.電動モビリティ(LUUP)クーポンプレゼント

期間中に資料を借りた本館、下鴨館の利用者 50 名に配布しました。

その4.秋の夜長に読みたい本リクエスト

[応募人数] 9名

推薦図書に上がらないタイトルや最新刊本のリクエストをいただきました。

[受入図書] 12タイトル(18冊)

「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として、受入対象を広げました。
受入のリストは図書館に掲示、また[ホームページ](#)にて公開しています。

【3】 --- 図書館自習室の空調設備が新しくなりました

.....

朝晩冷え込む季節になってきました。図書館第3閲覧室(自習室)に新しい空調設備を設置したので、夜間延長時にも安心してご利用ください。

【第3閲覧室】

河原町通りに面し、府立医大病院が目の前に臨める、自習に適した部屋です。38席の閲覧席、電源、kpum-air、冷暖房を用意しています。学生等の自習室として、この部屋のみ夜間開室延長します。

【利用手順】

- ①図書館の閉館時刻(21:00)の5分前までに、第3閲覧室に移動します。
- ②23:00まで図書館・合同講義棟1階の東玄関扉にある電気錠を自分で操作・開錠し、退室できます。
- ③退室時に「閉館後の利用者ノート」に所属(医学科・看護学科など)・学年など及び退出時間を記入してください。

【注意事項】

- ・21:00以降の入室はできません。
- ・夜間退室後、再度入室はできませんのでご注意ください。さらに23:00以降は建物全体を施錠し、どこからも退室できなくなりますのでお気をつけください。
- ・図書館資料は閉館時刻までに貸出手続きをお願いします。やむを得ず貸出の済んでいな

い資料を持込む場合は、退室時に必ずブックトラックに返してください。

[Book Review]

.....

庄野潤三著 「貝がらと海の音」(新潮社, 1996年)

昭和の"第三の新人"庄野潤三後期の私小説。

東京郊外の住まいで庭の花や水盤に来る野鳥を愛で、ご近所と到来ものの果物等と畑で作った野菜や花のお裾分けをし合い、妻のピアノに合わせてハーモニカを吹く。子や孫達と頻りに交流し、時には観劇や郷里大阪への旅行も楽しむ。

うれしい、おいしい、ありがとうが頻出する精神的にも物質的にも豊かな一昔前の「理想の老後」。

読んでいるうちに心が平らかになり、登場人物達に近しい親戚のような親しみを覚える作品群の中の一作である。

作家と夫人亡き後の邸宅は公開されているのでいつか訪れてみたい。(Y.S)
(京都市右京中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です。)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4093524084>

.....

図書館メール News 第 505 号 2023.11.22 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>